



## 被災地復興支援

### お帰りなさい！ 宮城の子どもたちが書いた「サンタさんへの手紙」作品展 in 成田空港 — 被災地へ届けよう！サンタクロースの心 —

開催期間 : 平成 23 年 10 月 12 日(水)～10 月 17 日(月)  
場 所 : 成田空港 第 2 旅客ターミナルビル 本館 2 階国内線連絡通路  
作品展数 : 宮城の子どもたちが書いた「サンタさんへの手紙」 3,000 点

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、  
一日も早い復興をお祈りしております。

当協会の活動の一つである「サンタさんへ手紙を書こう！手紙を書いてサンタを街に呼ぼう」により、2010 年度は全国から 46,000 通ものサンタクロースに宛てられたはがきが届きました。

なかでも地域をあげて取り組んだ宮城県からは全国一の 32,000 通のはがきが届き、2010 年 12 月にはフィンランドのサンタクロースが宮城県を訪れ、多くの子どもたちの笑顔に出会うことができました。

その宮城訪問の記憶が新しい 3 月 11 日に発生した大震災、宮城県をはじめとした被災地の惨状は決して他人事ではありませんでした。そこで少しでも被災地の子どもたちに元気になってもらいたい、一日も早く笑顔が戻るようにとの思いから、サンタクロースに宛てて書かれた子どもたちの手紙を元に、9 月 1 日～9 月 30 日までの 1 ヶ月間、フィンランド・サンタクロース中央郵便局において、被災地の一つであった宮城県の子供たちが書いた手紙作品展を開催し、世界中の方々にむけての支援の呼びかけを行いました。初日には被害を受けた日本にむけて、サンタクロースからあたたかいメッセージが発信されました。[展示会場もしくは当協会HPにて掲載]

そしてフィンランドにおける展示公開を終えた「サンタさんへの手紙作品」が日本に戻って参りました。今後日本各地での巡回展を予定する中、日本国内の皮きりに、日本の空の玄関口である成田空港において、宮城の子どもたちが書いた「サンタさんへの手紙」作品展を開催することになりました。12 月のサンタクロース被災地訪問にあたっては、フィンランドからサンタクロースが成田空港に降り立つ予定です。 [12 月 13 日(日) 予定]

東京都心では来週 10 月 19 日～26 日まで通信総合博物館、その後順次全国各地で作品展を開催し、被災地への長期的な支援の呼びかけにつなげていきたいと考えています。

さらにより具体的な子ども支援につながるよう、被災地にむけての寄付金の募集を呼び掛けると同時に、宮城県の子供たちが書いた「サンタさんへの手紙」のデザインをもとに制作したチャリティはがきの販売を行います。皆さまから寄せられた寄付金全額とチャリティ販売の収益の一部は被災地への支援活動に充てると同時に、今年の 12 月にサンタクロースと共に被災地を訪れ、地方自治体の子ども支援窓口へ寄付させていただきます。

クリスマスは家族や友人のみならず、人が人を思いやる大切な日。そしてそのシンボルであるサンタクロースは夢や希望、幸せを運ぶ使者として人々の心に存在します。

皆様のあたたかいお気持ちを、フィンランドのサンタクロースと一緒に届けさせていただきます。

「サンタクロースの心」を持つ多くの方のご参加、またご協力をお願い申し上げます。

多くの子どもたちの心に希望の灯りがともることを願いつつ

2011 年 10 月

主 催 : (財) 日本・フィンランドサンタクロース協会

共 催 : 郵便局株式会社 関東支社/成田国際空港株式会社

後 援 : フィンランド郵政/サンタクロース中央郵便局/フィンランド大使館  
日本郵政株式会社/郵便事業株式会社/郵便局株式会社

寄付の受付 : 郵便局備え付け振替用紙にて

口座番号 00820-0-108778 加入者名 (財) 日本・フィンランドサンタクロース 基金

**お問い合わせ先** (財) <sup>ニホン</sup>日本・フィンランドサンタクロース協会 TEL 054-655-0708

info@jf-santa.org URL <http://www.jf-santa.org>

※これらの手紙は震災以前(2010 年の 11 月まで)に書かれた手紙であり、震災以後の生存確認はされていません。  
公開の可否については投函時に確認済みですが、お名前、年齢などは伏せて展示してあります

～ 被災した日本に向けてのサンタクロースからのメッセージ～

子どもというのは本当に驚くような存在です。  
我々大人が忘れつつあるようなたくさんの事に目を輝かせ、  
そしてそこからびっくりするような素晴らしい物語を作り上げてくれるのです。

今年の3月、日本は大震災に襲われました。  
この出来事は私、サンタクロースに昨年12月、  
クリスマス前に訪れた熊本と仙台でのひと時を強く思い出させました。

そこでは喜びに輝いた、たくさんの子どもたちの笑顔での歓迎を受けたのです。  
その時の感動は今もって私の胸によみがえってきます。  
それから時は過ぎ、その素晴らしい思い出の場所が、  
この災害のニュースとなって私の耳に届いたのです。

今、私は世界中の人々と一緒に、  
この災害を受けた方々に私にできる限りのことをしたいと考えています。  
子どもたちからサンタクロースへのメッセージは、  
すなわち我々大人に向けたメッセージでもあります。  
サンタに寄せられるたくさんの手紙、絵葉書には、楽しい事、悲しい事、  
子ども達の心の叫びが詰め込まれています。  
「私はここにいるの、私の声を聞いて、私と一緒にいて！」……。

私たち大人は一緒に責任を持ち、子ども達を守り、  
愛して行かねばなりません。  
特に子ども達がとても助けを必要とする時、  
そして一人の力では克服できないほどの問題を抱えている時はもちろんのこと。  
子ども達を守ることは義務ではありません、それはすばらしい贈りものなのです。

そして、その一瞬一瞬に我々がその行為を通して  
感じることでできる深い喜びでもあるのです。  
さあ、今みんなの手を取り合って。

フィンランド サンタクロース村において  
サンタクロースより

*Joulujukki*

